

# 千葉県 NEWS

CHIBA CANCER CENTER NEWS

## がんセンターニュース



第34号  
平成28年11月4日発行  
発行:千葉県がんセンター

### 理念

心と体にやさしく、希望の持てるがん医療

私たちは一人でも多くの患者さんに  
質の高いがん治療を提供します。

## 生活者である患者さんのくらしを支える

看護局長 茅野 香子



平成28年4月に改訂された診療報酬は、退院支援や地域連携を高く評価し退院調整加算から退院支援加算に変わりました。制度改革や診療・介護報酬改定の都度、医療の現場で働く者として、患者さんやご家族に限られた資源を有効に活用し“善い

医療を提供するとは何か”という事を日々、模索しながら業務を行っています。急性期医療の推進と共に、病院完結型から地域完結型へ、そして「支える医療」が求められる今、当院の患者さんの多くも外来で化学療法や放射線療法を受け、更には緩和ケアを必要とする終末期患者さんも地域や在宅で療養するようになっています。入院期間の短縮に伴い、入院初期から退院後の生活を見据えた支援が重要となり、支援の在り方により退院後の生活に大きな影響を及ぼします。在宅療養は、患者さんを「生活者」と捉え、地域でどう暮らしていくかという生活を支援する事です。患者さんが日常生活で必要とする医療や介護サービスを受け、自分らしさを保ち人生を全うできたなら残された家族も「良い人生だったね」と見送る事ができるのではないのでしょうか。昨年、当院では緩和ケアセンターを新たに設置しました。活動の目的は、「緩和ケアチーム」と「緩和ケア病棟」を統括し、診断時から治療、在宅療養に至るがんによる痛みや不快な症状、様々な不安等への緩和ケアを迅速に切れ目なく提供することで

す。現在、外来及び入院患者さんに“苦痛のスクリーニング”を行い、患者さんが抱えている全人的な苦痛を把握し対応しています。その一つとして、「がん看護外来」を開設し、がん看護専門看護師によるカウンセリングを行い、様々な苦痛の緩和に向け多職種協働で支援しています。また、在宅療養の支援でも患者さんやご家族から在宅療養への不安を聴き、意思決定の支援を行いながら、療養環境の整備や地域医療機関と調整を図っています。

長寿化により、高齢のがん患者さんも多く、多疾患を有する患者さんが増えています。多死時代を迎える今、患者さんのQOLの向上と尊厳ある死に配慮した支援が求められ、地域で生活する患者さんやご家族を支える為のネットワーク作りが必須です。更に複雑な病態や多様なニーズに対応する為に、各種制度やサービスの内容を理解し運用ができる人材の育成が重要と考えます。当院では、がん看護専門看護師と認定看護師が構成する会で「千葉がん看護学習会」を立ち上げ、県内の看護師さんを対象に勉強会と交流会を開催しています。参加者の皆様と講義や意見交換を行い、相互理解を深めると共に顔の見える連携に繋がりたいと考えています。また、がん看護専門看護師と各領域の認定看護師による看護相談も行っています。多くは患者さんからのご相談ですが、医療者からの相談も受けていますので、ご連絡を頂ければ対応させていただきます。今後も、生活者である患者さんを支える為にチームとして活動して参ります。

# 臨床の現場から

## 肝胆膵外科への挑戦

肝胆膵外科 高山 亘

**今** 年度から消化器外科が食道胃腸外科と肝胆膵外科に分かれ診療に当たることになりました。肝胆膵は肝臓、胆道（胆嚢、胆管）、膵臓の総称ですが、それらは密に接し連携しております。肝臓は人間最大の臓器で右上腹部に位置します。体の代謝、解毒など大事な重要な役割を担っており、また黄色い消化液の胆汁を排出します。その胆汁の通り道が胆管、胆道であり、こちらに異常があると黄疸になったり、右上腹部痛が発生します。胆管は膵頭部を通り膵管と合流し十二指腸に開口します。膵臓は膵液を産生排出する外分泌作用とインシュリンを産生する内分泌機能があります。部位は上腹部の背側に位置し、痛みは背部痛というかたちで発症します。また膵頭部に疾患があると黄疸が発症します。つまり肝胆膵疾患は右上腹部痛、黄疸、背部痛がkey wordになります。

それぞれの臓器には特有の疾患があります。肝臓は肝炎、肝硬変、脂肪肝など疾患は多いですが、外科の対象になるのは原発性肝がんと転移性肝がんです。原発性には肝細胞がんと胆管細胞がんがあり少しずつ特徴が違います。ただ手術に関しては取り過ぎないことが重要です。正常肝なら三分の二とっても大丈夫ですが、残した肝臓

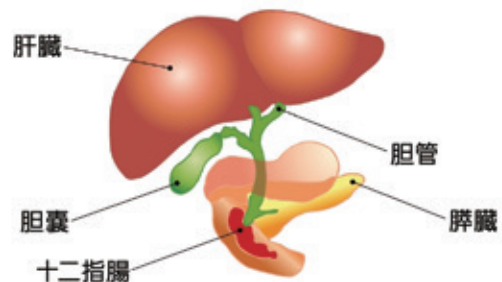
の機能が不十分だと肝不全になり生きていけません。

胆道疾患では胆嚢結石が一番多い疾患ですが、がんセンターでは胆嚢がん、胆管がんが治療対象になります。胆道は肝臓と膵臓の間の臓器のため手術の際は胆道＋肝臓あるいは膵頭部の合併切除となることが多く、長時間の手術が多くなります。

膵臓は機能が多彩なため多種多様な疾患が外科の対象になります。ただやはり膵がんが一番のターゲットです。通常型膵がんは以前より積極的な外科治療が行われていましたが、最近有効な抗がん剤が多数でてきており、門脈、動脈などに接する膵がんも抗がん剤治療と組み合わせで切除の対象となる症例が増えてきました。ただ膵がんは依然予後不良な疾患であり積極的なアプローチにより少しでも予後の向上に努めていきたいと思えます。

肝胆膵外科では対象となる手術が、長時間で高侵襲の技術難度の高い手術となりますが、我々はチーム医療として透明性の高い安心安全な外科治療を提供していくとともに、術後成績向上のため努力していきたいと思えます。

肝臓・胆嚢・膵臓



## 平成28年度 千葉県がんセンター

## 臨床研究総合センターシンポジウムのお知らせ

例年通り臨床研究総合センターシンポジウムを平成28年12月3日（土）に事務研修棟2階大会議室で開催します。ノーベル賞候補で話題になった免疫チェックポイントPD1の本庶佑教授、Treg細胞の坂口志文教授のことは記憶に新しいと思えますが、今回はこのお二人も関与し話題の「Cancer Immunotherapy（がん免疫治療）」をテーマに行います。白血球走化性因子ケモカインの研究で知られ、成人T細胞白血病リンパ腫（ATL）の世界初の抗体医薬品“ポテリジオ”の標的CCR4の研究でも知られる松島綱治先生（東京大学分子予防医学教室教授）と皆さんご存知の臓器横断的がん診療という新しい取組を千葉大で行い免疫療法でも高名な滝口裕一先生（千葉大学医学研究院先端化学療法学教授）をお迎えし、さらに、当センターの深沢賢泌尿器科部長と永瀬浩喜研究所長から千葉県がんセンターでの取り組みについてもご講演いただく予定です。奮ってご参加くださいますようご案内いたします。

## 地域医療連携室だより

診療部長・地域医療連携室室長 高山 亘

10

月より千葉県がんセンターでは、長い間地域医療連携室室長としてご活躍いただいた浜野公明診療部長が医療安全管理室長専任となり、新しく地域医療連携室室長を引き継ぐことになりました。私もそうでしたが地域医療連携室といっても、仕事は何をしているのか、がんの患者さんにどう関わっているのかわからない人が多いと思います。そこで今回は地域医療連携室の業務の紹介をしたいと思います。

まず地域連携室のメンバーですが、医師1名、看護師長1名、副看護師長1名、MSW1名、事務7名の体制でそれぞれ業務を行っています。

当センターの特徴として、受診患者さんのほとんどが紹介患者さんで、各科予約制で外来診療を行っています。そこで連携室では紹介患者さんが確実に診察を受けられるように一元管理を行っております。また紹介受診された患者さんの履歴を管理し、治療内容とその結果が確実に紹介医療機関に報告されているかチェックします。安心して患者さんが治療を受けられる環境を整えること、各医療機関と密に連携し、がんセンターとして信頼される病院を目指すことをまず第一の業務としています。

予約電話対応も大事な業務として行っております。受診予約日に都合が悪くなった患者さん、検査予約日の変更を希望する患者さんなどに予約変更の業務を行っています。

これには各診療科医師との調整、検査業務担当部署との調整など院内の中で他部署との連携が必須となります。患者さんの要望をできるだけお聞きし、診療などに支障を来さない範囲で各部署と相談の上、適切に対応しております。

また入院患者さんに対する退院調整にも積極的に関わっています。各科での入院治療が終わり退院するに当たって、退院後の不安などの軽減目的のため、介護支援等各種医療サービスのご案内、退院先医療機関のご案内と調整、また緩和支援への対応などMSWが中心となり介入し退院支援を行っています。

地域連携パスの運用管理も地域医療連携室の業務です。当センターで治療を受けた患者さんに対し、通常の外来フォローを地域の連携病院で行って頂き、経過中異常が出現した場合、当院にご連絡頂き、連携して治療を継続するシステムです。早期のがん患者さんが対象で、患者さんの同意をいただき導入します。前立腺がん、子宮がん、乳がん、胃がん、大腸がんの連携パスがあり、緩和ケアについても在宅医療機関との連携を図っています。

またそれぞれの癌種別に年1回地域連携研究会を開催し（緩和ケアは年2回）、その開催事務局として顔の見える地域連携の強化に努めています。

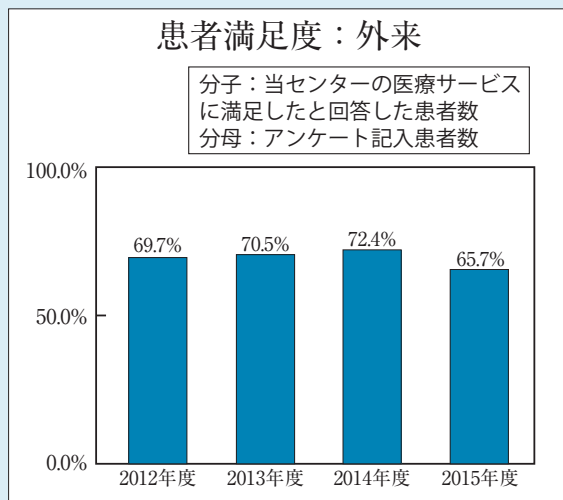
また千葉県のがん対策基幹病院として千葉県共用パスの運用管理の事務局をつとめ、千葉県の他のがん拠点病院との連携を密にしております。

このように地域医療連携室では多種多様の業務を行っています。ご不明な点がありましたら地域連携室までご連絡お願いいたします。

## 診療実績

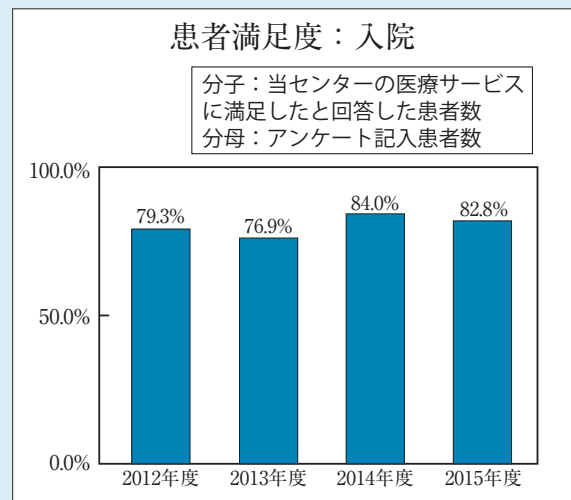
### 医療の質指標（2012～2015年度）

診療情報管理室



## 提

供した医療サービスに満足していただくことは、医療の質を評価する上で大変重要です。昨年度の患者満足度は僅かに下がってしまいました。今後も当センターの医療に満足していただくよう、全職員で取り組んでいきます。





# 初診担当医表

2016年11月1日現在

## 【予約受付時間】

月曜日～金曜日(祝祭日、年末年始を除く)  
9時～17時

| 診療科                          | 月                                | 火                                  | 水                                | 木                                | 金                                |
|------------------------------|----------------------------------|------------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|
| 消化器外科<br>(食道・胃腸外科/<br>肝胆膵外科) | 池田 篤<br>外岡 亨<br>有光 秀仁            | 高山 巨<br>鍋谷 圭宏<br>早田 浩明<br>外岡 亨     | 滝口 伸浩<br>高山 巨<br>池田 篤<br>知花 朝史   | 鍋谷 圭宏<br>滝口 伸浩<br>永田 松夫<br>柳橋 浩男 | 早田 浩明<br>有光 秀仁<br>千葉 聡<br>星野 敢   |
| 消化器内科                        | 傳田 忠道<br>廣中 秀一<br>鈴木 拓人<br>喜多絵美里 | 傳田 忠道<br>須藤研太郎<br>三梨 桂子            | 山口 武人<br>傳田 忠道<br>廣中 秀一<br>中村 和貴 | 傳田 忠道<br>廣中 秀一<br>鈴木 拓人          | 中村 和貴<br>須藤研太郎<br>三梨 桂子<br>北川 善康 |
| 呼吸器外科                        | 飯笹 俊彦                            |                                    | 飯笹 俊彦<br>吉田 成利                   |                                  | 飯笹 俊彦<br>吉田 成利                   |
| 呼吸器内科                        | 芦沼 宏典                            | 板倉 明司<br>新行内雅斗<br>芦沼 宏典            | 吉田 泰司                            | 板倉 明司<br>新行内雅斗<br>吉田 泰司          | 芦沼 宏典                            |
| 乳腺外科                         | 山本 尚人<br>榛澤 侑介                   | 藤咲 薫<br>(担当医)                      | 中村 力也<br>榛澤 侑介                   | 藤咲 薫<br>(担当医)                    | 中村 力也<br>榛澤 侑介                   |
| 形成外科                         |                                  |                                    |                                  | 徳元 秀樹                            | 徳元 秀樹                            |
| 婦人科                          | 大崎 達也                            | 田中 尚武<br>鈴鹿 清美<br>(腹腔鏡手術)<br>井尻 美輪 | 大崎 達也                            | 田中 尚武<br>鈴鹿 清美                   | 大崎 達也                            |
| 泌尿器科                         | 小丸 淳<br>大塚 真史                    | 篠崎 哲男                              | 梨井 隼菱<br>鎌迫 智彦                   | 小林 将行<br>竹下 暢重                   | 深沢 賢<br>篠崎 哲男                    |
| 腫瘍血液内科                       | 熊谷 匡也<br>伊勢美樹子                   | 辻村 秀樹<br>菅原 武明                     | 熊谷 匡也<br>菅原 武明                   | 熊谷 匡也<br>伊勢美樹子                   | 熊谷 匡也<br>辻村 秀樹                   |
| 脳神経外科                        | 井内 俊彦                            |                                    | 井内 俊彦                            |                                  | 井内 俊彦                            |
| 頭頸科                          | 佐々木慶太<br>佐々原 剛                   | 佐々木慶太<br>佐々原 剛<br>堀中 敦史            |                                  | 佐々木慶太<br>佐々原 剛<br>大熊 雄介          |                                  |
| 整形外科                         | 石井 猛<br>米本 司                     | 石井 猛<br>岩田慎太郎                      |                                  | 石井 猛                             | 米本 司<br>岩田慎太郎<br>鴨田 博人           |
| 緩和医療科                        | 秋月 晶子                            | 秋月 晶子                              |                                  | 秋月 晶子                            | 秋月 晶子                            |
| 精神腫瘍科                        | 秋月 伸哉                            | 秋月 伸哉                              |                                  | 秋月 伸哉                            | 秋月 伸哉                            |
| 核医学診療部                       |                                  | 戸川 貴史                              | 久山 順平                            | 久山 順平                            | 戸川 貴史                            |

## 【診療予約のご案内】

予約電話 043-264-5431 (代表番号) 地域医療連携室 予約担当

- \*当センターは予約制となっております。受診される場合は、電話で予約をおとり下さい。
- \*初めて受診なさる場合は、かかりつけ医など医療機関からの紹介状をお持ち下さい。

# 看護の現場から

## 放射線療法を支える看護師の役割

外来看護師 富岡美枝

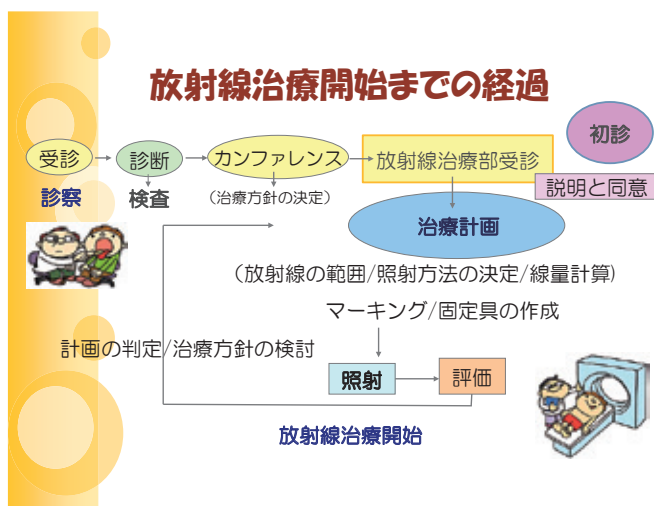
**放** 射線治療は、根治から緩和的治療まで幅広い目的で行われ、手術療法、化学療法とならび、がん治療の3本柱の1つとなっています。

診療科で放射線治療の方針が決定されると右記に示す流れで放射線治療部に受診となり治療に至ります。ほとんどの方が、初めて受ける治療で不安があると思います。具体的には、被ばくに関する不安、治療の副作用に対する不安、治療装置や治療室、治療中の隔離など治療環境に対する不安、治療の安全性に対する不安、病気の進行に対する不安、治療効果に関する不安、様々あると思います。初診時、医師からの説明後、看護師が面談を行い、患者さん・ご家族が納得して治療を受けられるよう説明しています。また、治療初回時は、診療放射線技師から実際の治療について説明があります。ご不明点はいつでも遠慮なくご質問下さい。

治療回数は、治療部位、治療目的によって異なりますが、毎日治療を受けることは、心理的負担を伴い、治療の後半は、副作用での身体的負担も加わります。私達看護師

は、治療が予定通り順調に進むように、日々治療に携わっている診療放射線技師と共働し、副作用症状やお困りのことについて伺い、サポートしたいと思っております。

治療には、放射線治療を専門に行う医師の他、治療の物理的側面を担保する医学物理士、医療事務、主治医、がん放射線療法看護認定看護師を初めとするがん専門看護師、診療科外来看護師、病棟看護師、栄養士、ソーシャルワーカー、薬剤師ら多職種が携わり医療チームとして連携しています。私達は、安全で安心して治療が受けられるよう多職種医療チームの一員として、患者さん・ご家族への支援をして参りたいと思っております。



## 第6回

# 心と体総合支援センターシンポジウム 開催のお知らせ

今回で6回目の開催となる心と体総合支援センターシンポジウムは、テーマとして「医療を選ぶということ -自分らしい選択とは-」を掲げています。がん患者さんが治療を受けるあたり、自分らしい選択をするために、ご自身や家族は何を考えるべきか、それを知る機会になるシンポジウムです。入場無料ですので、ふるってご参加ください。

基調講演に虎ノ門病院臨床腫瘍科部長の高野利実先生をお招きし、「がんとともに自分らしく生きる」をお話し頂きます。講演後には、全国がん患者団体連合会理事長の天野慎介氏を迎え、当センターの医師やがん専門相談員とともにパネルディスカッションを行います。来場者の皆様にもリアルタイムでアンケートにご回答頂ける会場参加型の企画となっています。

お申込み・お問い合わせは、千葉県がんセンターがん相談支援センターまで。

日時：平成29年2月25日（土）13～16時

場所：京葉銀行文化プラザ 6階「櫛」

リレー・フォー・ライフジャパン2016ちばが10月8日(土)、9日(日)の2日にわたり幕張海浜公園にて開催され、今年で7回目を迎えました。7年目にして初めての千葉市での開催で、千葉市長も応援にかけつけてくれました。ステージでは歌や踊り、演奏が行われ、歩いている人たちを勇気づけました。がんセンターは今年もチーム参加で、残念ながら強風と雨天のため途中で中止となってしまいましたが、交代でリレーウォークをし、190周することができました。途中、「次の人が来るまで頑張ろう」「どれだけ周れるかな」などの話も聞こえてきました。途中で途切れないように、50名もの方々リレーをつないでくれました。最後になりますが、今回参加された皆様、雨風の中、本当にお疲れ様でした。また、ご支援ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。



## がん予防展・講演会2016

がん予防展が平成28年9月3日(土)、4日(日)10時から17時まで、イオンモール柏1階で開催されました。センターコートの会場では、「がん相談」「血管年齢測定」「喫煙度チェック」「口腔がん」「がん細胞の顕微鏡画像の体験」胃がん模型を用いた「内視鏡体験」など、体験しながら学べるものを中心に計12のブースが出されました。また、4日には乳がん無料検診が行われました。レストランコートの会場では、「食生活相談」「しっかり運動・早寝早起き朝ごはん」「ケアフード」「がんと向き合う食事」などが展示されました。ケアフードでは4日の11時から200限定で試食会も行われました。また、がん講演会が平成28年9月17日(土)13時から16時までさわやかちば県民プラザで開催されました。講師に国立がん研究センターの社会と健康研究センター長の津金昌一郎さんとタレントでよつばの会代表の原千晶さんを招いての講演会になりました。事前申込みの方以外にも多くの方に来ていただきました。がん予防や早期発見の重要性について認識を深めていただく貴重な機会となりました。



ご案内の交通

**JR千葉駅から** 所要時間:約25分

千葉中央バス: 菅田駅、鎌取駅、千葉リハビリセンター、大宮団地(星久喜経由)行乗車・千葉県がんセンター前下車

**JR鎌取駅から** 所要時間:約13分

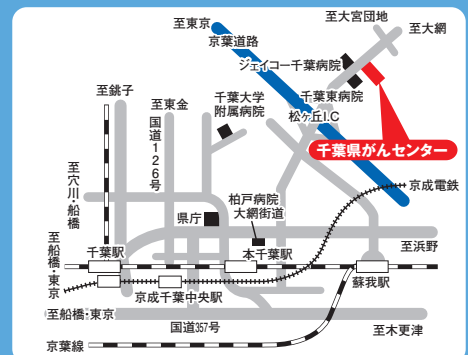
千葉中央バス: 千葉駅・蘇我駅行乗車・千葉県がんセンター前下車

**JR蘇我駅から** 所要時間:約16分

千葉中央バス: 鎌取駅行乗車・千葉県がんセンター前下車

**松ヶ丘I.Cから**

大網街道を大網へ向かって約2km右側



### 千葉県がんセンター

〒260-8717 千葉市中央区仁戸名町666-2  
TEL.043-264-5431 FAX.043-262-8680  
<http://www.pref.chiba.lg.jp/gan/>